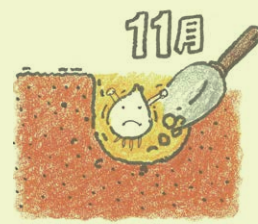




春の庭に欠かせない! やっぱり華やかなチューリップ。

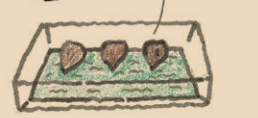
春といえばチューリップ。これはもう、代表選手。咲く季節も早生(3月下旬～4月下旬)、中生(4月上旬～4月下旬)、晩生種(4月下旬～5月上旬)と色々。連続して咲くように品種を選ぶと長く楽しめます。草丈の20cmから60cmまで多様です。この頃は一代だけ綺麗に咲かせるように品種改良されているので、球根は毎年購入したほうが安心。植え付けは、11月に入ってからにしましょう。



人気の定番、可憐なアネモネ。

南ヨーロッパから小アジアに自生している野生植物を改良したアネモネ。日本には明治のはじめに輸入が開始され、花色の豊富さや可憐な風情が受けて、近年、人気が高まっています。球根は、とがったほうを下にして植え付けます。庭植えは15cmぐらいの間隔。鉢植えは5号鉢に3球。プランターは10球を目安に、いずれも3cmぐらい土がかぶるように。球根は湿らせたパーミキュライトや砂の上にとがったほうを下に置き、一昼夜、吸水させる。球根を乾燥したまま植えて水を与えると、急に肥大して傷みやすいのです。掘り上げは、毎年、葉が黄ばんで半分以上、枯れる頃。湿気のない場所で乾燥させましょう。

湿らせたパーミキュライトの上に置き、一昼夜、吸水させて植える



球根花の女王スイセン。

ラッパ、房咲き、八重咲き、芳香、口紅など、スイセンもたくさんの品種があり品種によって、12月ごろ～5月ごろまで咲く時期も色々。チューリップの派手さはありませんが、格調のある、いい花ですね。落葉樹の下に植えてあげると、咲いている時に日が当たり、夏の暑い時期を木陰で過ごせていいと思います。スイセンは、毎年、掘りあげる必要はなく4～5年ほど植えっぱなしで大丈夫です。



群生すると美しいムスカリ。

草丈15cmぐらいの小さくてかわいい球根植物です。チューリップと寄せ植えにすると原色のチューリップにさわやかなブルーが映えて、とてもきれいです。葉が伸びるので、12月に入ってから植えつけるほうが綺麗な草姿で楽しめます。2～3年植えっぱなしでもよいのですが、できれば毎年6月頃に掘り上げて乾燥保存しておきましょう。

ムスカリの分球と保存方法

古い変や根を取り除く。



周りの小さな球根を取りはずし、風とおしのいい日かげで保存します。



春に咲かせる球根植物・博士のベスト4!

秋植え球根のガーデニング

読むより7チャー

ガーデン博士に聞きました! 初心者でも球根の花を楽しむ、AtoZ!

●ガーデン博士・プロフィール
ガーデンデザイナー:三村芳恵先生

ワコアインテリアスクール・グリーンインテリア科卒業。
チボリ公園の花壇デザインと植栽管理全般の担当を経て、現在は赤磐市で「ネイチャーフレンドリー」を運営。寄せ植え教室なども開催。

春が待ち遠しい

チューリップ
(径約2～5cm)
大きくて重い物、
形が"いいもの"が
おすすめです。



スイセン(径約3～5cm)
表面に凹凸や
汚れのない
締まった球根を
選ぶように
しましょう。



ムスカリ
(径約2cm)
植え付け時期は
気温が下がった
12月頃から。



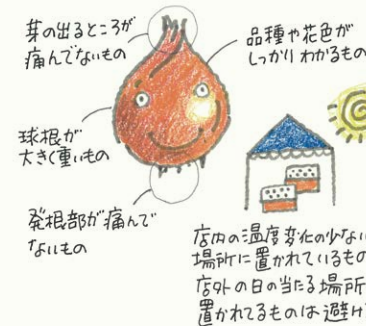
アネモネ(径約1cm)
カラカラに乾いた状態で
販売されています。

球根
知っ得
×モ

春咲く花は、10月から12月に植え付け。寒さにあたらないと花が咲かない仲間です。今回は、この春咲きをご紹介します。

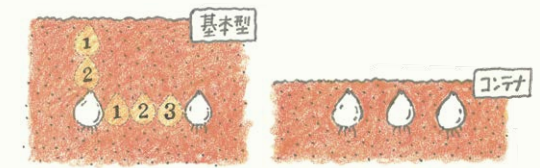
寒さにあたらないと花が咲かない仲間です。今回は、この春咲きをご紹介します。

良い球根に出会いましょう。



植え付けの深さと間隔は状況に合わせて。

基本は球根2個分の土がかかる深さで、間隔は球根3個が入る間隔ですが、コンテナに植え付ける深さはあまり気にせず根が伸びやすい状態の方がいいので球根がのぞく程度の深さで大丈夫です。



おかやま
花

アーバンホール
花紀行
vol.18
シリーズ特別企画

紀

この特別企画は、
素敵なガーデニング
情報をお届けします。

行

アーバンホール 葬儀・法要・ギフト

倉敷、岡山、玉野に15ホール、裏面もご覧ください。